

登録コード	A3302200	開講年度	2026				
授業科目	植物遺伝資源学				担当教員	根本 和洋	
英文授業名	Plant Genetic Resorces Science						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	
講義室	農学部 2 3 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				植物遺伝資源学の専門的知識や研究能力を習得している		
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				グローバルおよびローカルな視点に立って専門的な立場から問題を捉え解決する能力を習得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	高等植物について野生のものをどのように利用し、改良してきたかを解説します。その基礎となる構造、生理、生態、植物資源とその利用、最新のバイオテクノロジーの利用による植物資源の利用についてスライド、実物などを見せながら講義します。 【行動目標】 ・インターネットや図書館を利用して必要な情報を得ることができる ・論理的で分かり易い文章を作成することができる ・与えられた課題の問題点を的確に把握し、その解決法を見つけることができる ・自分の考えを正確に伝えることができる						
(5)授業計画	第 1 回 (10/1) ガイダンス：植物と人間の関わり 第 2 回 (10/8) 生物と植物の多様性 第 3 回 (10/15) 生物種の分類 第 4 回 (10/22) 植物群落と集団 第 5 回 (10/29) 集団の構造と進化 第 6 回 (11/5) 野生植物と栽培植物 第 7 回 (11/12) 植物資源：食用作物 第 8 回 (11/19) 植物資源：工芸作物 第 9 回 (12/3) 植物資源：医薬品・二次代謝成分 第 1 0 回 (12/10) 植物資源：バイオレメディエーション 第 1 1 回 (12/17) 植物遺伝資源の収集・保全と評価 第 1 2 回 (12/24) 植物遺伝資源の利用：育種 第 1 3 回 (1/7) 植物遺伝資源の利用：組織培養 第 1 4 回 (1/14)植物遺伝資源の利用：細胞融合 第 1 5 回 (1/21) 植物遺伝資源の利用：遺伝子組換え 授業アンケートの実施 第 1 6 回 (1/28) 試験						
(6)自主学習の指針	小テストやレポートの課題、配付資料、下記参考図書などを参考にして、講義内容の予習もしくは復習、さらには講義内容から発展した内容について、自主学習してください。						
(7)成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としている。 秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。 優：授業の達成目標水準よりかな上にある。 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。 可：授業の達成目標水準にある。 不可： 授業の達成目標水準にない。						
(8)事前事後学習の内容	1. 基本的に毎回の授業の際にパワーポイントをプリントアウトしたものおよび関連資料を配布しますので、それを基に復習をして下さい。 2. 授業中に紹介する参考図書は、積極的に読むよう心がけて下さい。講義内容に対する理解が深まります。 3. 植物資源科学は日進月歩で進歩しています。新聞、インターネットなどで植物資源とその利用に関わる最新情報に触れることで、講義に対する興味が高まります。						
(9)テストやレポートの予定	1 毎回、講義内容に関連した小レポートの提出を求めます。レポートにより講義の理解を深め、定着を図ります。 2 期末試験を行います。						
(10)成績評価の方法	1. 講義ごとのレポート提出による出席点（40%）と講義の理解度を測るための期末試験（60%）で評価します。 2. 10回以上の出席が必須です。 3. 出席点と期末試験の合計得点が90点以上を秀, 80点以上を優, 70-79点を良, 60-69点を可, 59点以下を不可と評価します。 4. 追試験は実施します。対象者は「やむを得ない理由により期末試験を欠席することを事前に連絡し、許可を得た学生」です。その他は追試験の対象としません。						

(10)成績評価の方法	5.再試験（不可と判定された学生への試験）は実施しません．
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内および終了直後は口頭での質問・相談を受けます。 毎回の授業後に提出するレポートの欄外等に質問，相談を記入してもらっても対応します。 直接、研究室に來訪しての質問，メールでの質問等にも対応します。 連絡先 植物遺伝育種学研究室（C棟4階） 根本和洋 0265-77-1619 knemoto@shinshu-u.ac.jp
(12)履修上の注意	2年生前期に遺伝学と植物生殖学を受講していると本授業の理解に役立ちます． 3年次で学ぶ植物遺伝育種学（松島先生）の基礎となるので，しっかり学習してください。
【教科書】	特になし
【参考書】	特になし